

Hitachi Social Innovation Forum 2019 TOKYO 展示報告



日立グループにおける世界最大規模のイベント「Hitachi Social Innovation Forum 2019 TOKYO」が、2019年10月17日（木）～18日（金）に東京国際フォーラムで開催されました。本イベントでは、「POWERING GOOD」に込めた日立の想いとともにお客さまとの「協創」を通じて、世界各国で進化を続ける社会イノベーション事業の最新事例と取り組みを、講演、ビジネスセッション、セミナー、展示などの多彩なプログラムにて幅広くご紹介しました。

展示会場では、社会イノベーション事業の全体像を「MOBILITY」「LIFE」「INDUSTRY」「ENERGY」「DIGITAL INNOVATION」「SECURITY」「WORKSTYLE INNOVATION」という7つのカテゴリーに分けてプレゼンテーションを実施。体験型・立体型を含む約200点の展示を通じて、お客さまに各種ソリューションの特長や導入効果をアピールし、多くの来場者が強い関心を寄せていました。



Hitachi
Social Innovation
Forum 2019
TOKYO



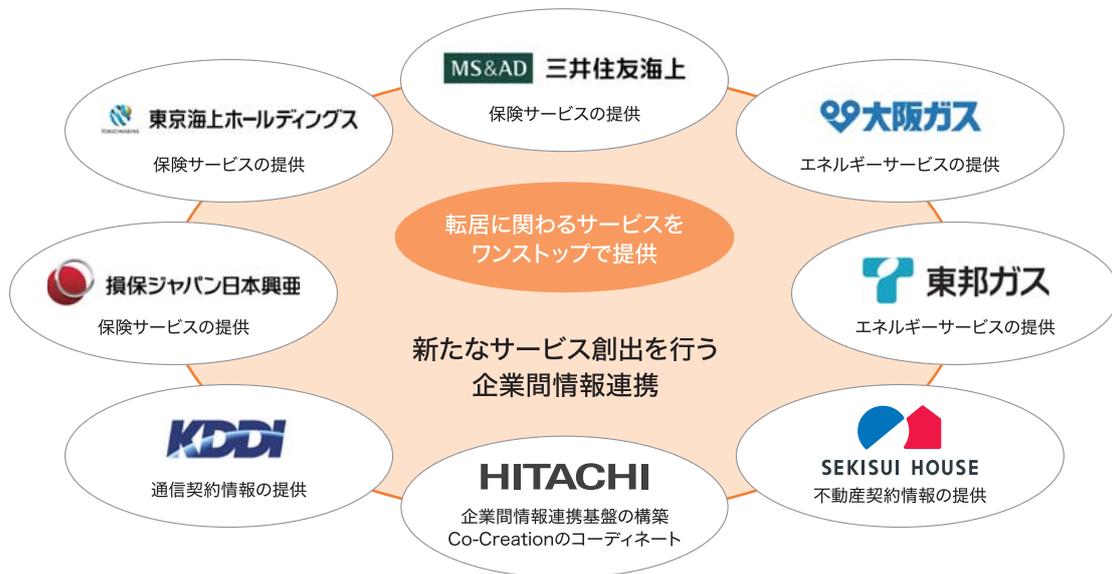
LIFE

ブロックチェーンによる
企業間データ連携で広がる未来

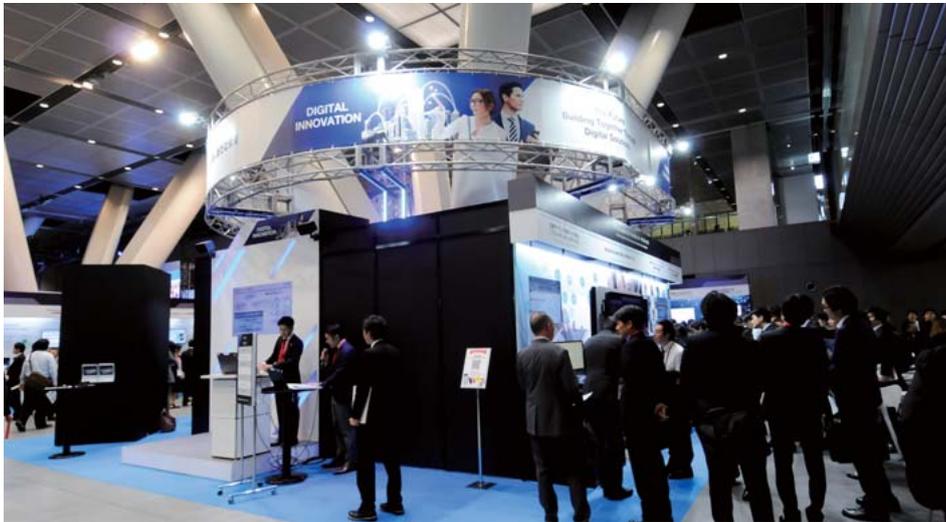
日本政府が提唱する「Society 5.0」では、デジタル技術やデータを活用した新たなユーザーメリットの創出や利便性の向上が求められています。そこで積水ハウス、KDDI、日立が2019年4月から共同で進めてきたのが、複数の企業で情報を安全に共有できるブロックチェーン技術を用いて、異業種データの相互補完やサービス連携を実現する基盤の整備です。第1弾では、不動産賃貸契約におけるワンストップサービスの検証を実施。第2弾では、新たに参画した損保ジャパン日本興亜、東京海上、三井住友海上、大阪ガス、東邦ガスと共同で、火災・地震保険やエネルギー関連など、転居に関わるサービス手続きをワンストップ化する検証を開始しました。展示では、これらの内容と、効率的な物件内覧を実現するスマートロック*なども紹介。ブロックチェーンが切り開く未来のサービスモデルを訴求しました。

* スマートフォンを通じて開錠や施錠を行う鍵

▶ <https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/09/0927a.html>



協創における各社の役割



DIGITAL INNOVATION

DX時代のエンタープライズアプリケーション

デジタルトランスフォーメーション (DX) の鍵となるデータの利活用とアプリケーションのデリバリースピード。その実現のためにはデータの整形やクレンジング、DevOpsを実現する開発基盤やアジャイルの導入など、従来とは異なるアプローチが不可欠です。展示では、お客さまのDX実現に向けた日立のエンタープライズアプリケーションを幅広くご紹介。データの前処理をAIで効率化する「Data Preparation Service」などに、来場者の注目が集まっていました。

▶ <http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/10/1002.html>



DIGITAL INNOVATION

デジタルビジネスを支えるストレージソリューション

DXの推進には、企業が保有するデータの価値を高め、活用するためのITインフラが重要です。展示では、DX推進に貢献するスケールアウト型フラッシュストレージ「Hitachi Virtual Storage Platform 5000シリーズ」と、データ利活用のための各種ソリューションをご紹介。ストレージの柔軟な拡張性、品質への取り組み、コピーデータ活用/データ保護ソリューションに強い関心が寄せられていました。

▶ <http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/10/1010a.html>



SECURITY

運用支援 インシデント検知と対処を支援

新たに提供を開始した「制御システム向けセキュリティ監視・分析支援サービス」は、急増する制御システムへのサイバー攻撃に対して、セキュリティイベントの監視・分析から発生したインシデントへの対応まで、専門チームが24時間365日ワンストップでサポートするものです。会場では、制御システムの安定稼働とインシデント発生時の被害の最小化に貢献するサービス内容を詳しく説明しました。

▶ <http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/10/1007.html>



LIFE

AI画像解析の活用で特定人物の早期発見・追跡を支援

「高速人物発見・追跡ソリューション」は、AIを使って性別・年齢層や服装・持ち物など、人物を特徴付ける情報を解析し、街頭カメラなどの映像データから、同じ特徴を持つ人をリアルタイムに検索できるシステムです。複数カメラの映像解析で特定の人の行動を追跡することも可能。駅や空港、商業施設での警備業務などに威力を発揮します。

▶ <http://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/10/1004a.html>



INDUSTRY

サプライチェーン最適化・計画自動立案

いま製造業や流通業では、グローバル経済の急激な変化や消費者ニーズの多様化などにより、過剰在庫によるコスト増、欠品による機会損失、イレギュラー輸送の多発など、サプライチェーン全体で多くの課題を抱えています。そこで日立は、調達から販売までのさまざまなデータをサイバー空間上でひも付け、高速シミュレーションで需要変動に即応する計画を自動立案する「サプライチェーン最適化サービス」の提供を開始しました。展示では、日々変化する需要情報や、さまざまな変動シナリオをもとにシミュレーションすることで、出荷計画・在庫計画などを自動立案し、トータル在庫削減、オペレーションコスト削減に貢献するデモをご紹介しました。

▶ http://www.hitachi.co.jp/products/it/bigdata/whatsnew/sco_20191011.html



情報関連サイト

(株)日立製作所 Hitachi Social Innovation Forum 2019 TOKYO事務局
<https://hsiftokyo.hitachi>

